

世界農業遺産に申請中！

「有田・下津地域の石積み階段園みかんシステム」



このシステムは、400年以上前から農家の手により壮大な石積み階段園を築き上げ、自然条件を巧みにいかして多様な品種系統を導入し、貯蔵技術も駆使することで、年内の有田みかん、年明けの下津蔵出しみかんといった長期リレー出荷を実現した、世界的に重要な農業システムです。



400年以上続いたゆまめ努力の歴史
私たちの挑戦が、さらなる歴史となるように

有田市認定みかんって？

平成22年度に高い品質の農産物及び農産物加工品を提供していただくことで、生産情報を消費者へ開示し、信頼を得ながら地域の振興を図ることを目的とした「有田市原産地呼称管理制度」を創設しました。

有田みかん、有田みかんシユースを対象にしており、特に生の果実を対象とした認定制度としては全国でも本市だけの取組です。この制度で認定された有田みかんが「有田市認定みかん」です！

制度開始以来、毎年認定を受ける

ブラチナファーマーの総田 至さん
制度の話聞いた時、なんとめんどい制度やーと思った。それでも、有田みかんの良い宣伝になるし、ブランド力上げるのに良いかもしれない、農家がさっぼ向いてたらあかんと思った。

今は、ふるさと納税の制度も追い風になり順調に進んでいる。農家は必ず美味しいみかんをふるさと納税に出してほしい。知ってもらえたら自然とブランド力は上がるはず。



有田地域の「みかん栽培の礎を築いた有田みかんシステム」は昨年2月、海南市下津地域の「下津蔵出しみかんシステム」は平成31年に「日本農業遺産」に認定されました。
現在、2つの地域を融合し、共同で「世界農業遺産」に申請中です。
世界農業遺産とは、世界的に重要かつ伝統的な農林水産業を営む地域（農林水産業システム）を、国際連合食糧農業機関が認定する制度で、このシステムは令和6年の認定をめざしています。

石積み階段園



江戸時代から、山の斜面に石積み階段園を築き、高品質なみかんを生産しています。
世界的にめずらしい！！

みかんの貯蔵庫



下津地域では、みかんを貯蔵庫に貯蔵し、糖酸バランスを整えて出荷しています。

伝統的な神事



みかんの神に豊作を願う神事が催されるなど、みかんにまつわる文化が地域に根付いています。

苗木生産



一部のみかん農家が苗木生産を担い、みかん栽培の基盤が支えられています。

みかん農業が育む共生関係



尾根に雑木林を残し、麓に住居を構えることで、みかんの害虫を食べる鳥類やコウモリとの共生関係が築かれています。

有田市認定みかん 次のステップへ！

制度を開始して13年。有田みかんのブランド力強化の一環として、皆さんと一緒に考え、みかん産業に誇りを持つてもらうことを目的に、9月に「みかんシンポジウム」を開催しました。

制度開始時、認定みかんの単価は377円/kg、供給量は約167トンでしたが、令和3年では単価594円/kg、供給量約253トンと、約150%を超える成長を遂げました。シンポジウムでは、これから10年、20年先のありたい姿について、産業規模を拡大していくこと、このたゆまぬ努力の歴史を、私たちの新たな挑戦で紡いでいきたいという強い思いを共有しました。

ふるさと創生室 Tel 22-3648



表紙、2ページの写真は南村さんご一家にご協力いただきました！